

## 外部評価選定方法の変更案

## 【変更案】

主に部単位とした7グループに編成し、それぞれのグループから1事業ずつ、委員会にて外部評価事業を選定する。

趣旨：現行の外部評価を実施して4年が経過し、一定の浸透が図られたため。今後は経常的な取り組みとして位置付けることを企図する。

	所属課			
<u>市長公室</u>	1	}	4	①
<u>行政経営部</u>	3			
<u>総務部</u>	6	→	6	②
<u>くらし文化部</u>	6	→	6	③
<u>福祉部</u>	6	→	6	④
<u>建設部</u>	4	→	4	⑤
<u>教育部</u>	3	→	3	⑥
<u>会計課</u>	1	}	6	⑦
<u>消防本部、消防署</u>	3			
<u>議会事務局</u>	1			
<u>監査委員事務局</u>	1			

※残り1つの外部評価枠については、委員会にて特に実施要とするものを選定。

(参考：これまでの選定方法)

## ○平成 24 年度

### 選定方法

168 事業のうち自主事業 49 事業を抽出し、委員会にて 4 事業を選定。

## ○平成 25 年度

### 選定方法

事務局が 297 事務事業のうち 156 事務事業を抽出し、委員会にて 4 事業を選定。

### 抽出要件

- ①継続して実施する事業であること。(臨時的な事業ではない。)
- ②法律に定められた事務、内部管理に関する事務ではないこと。
- ③ソフト事業であること。(施設の整備又は維持管理に係る事業ではないこと。)

## ○平成 26 年度

### 選定方法

事務局が 308 事務事業のうち 20 事務事業を抽出し、委員会にて 8 事業を選定。

### 抽出要件

「多様な外部評価」の視点

- ①分野、組織的な多様性
- ②活動主体の多様性
- ③確認すべき点の多様性

## ○平成 27 年度

### 選定方法

事務局が 301 事務事業のうち 94 事業を抽出し、委員会にて 8 事業を選定。

### 抽出要件

全事務事業のうち、次にいずれかに該当する業務を除いたもの。

- ①平成 26 年度に事業完了した事務事業
- ②施設管理業務
- ③平成 24 年度～平成 26 年度に外部評価を受けた課等に属する事務事業

長久手市行政組織表

平成27年4月1日

9部2事務局

36課

3課内室

66係

